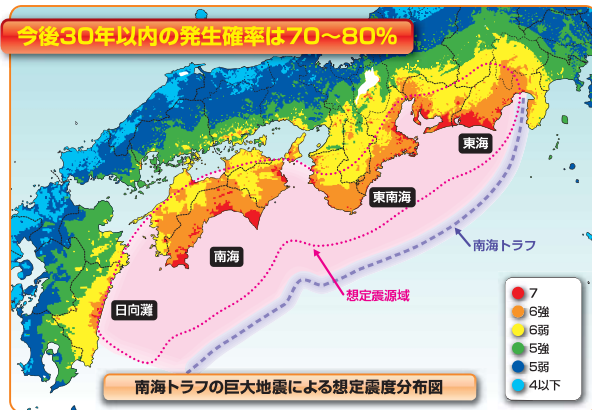


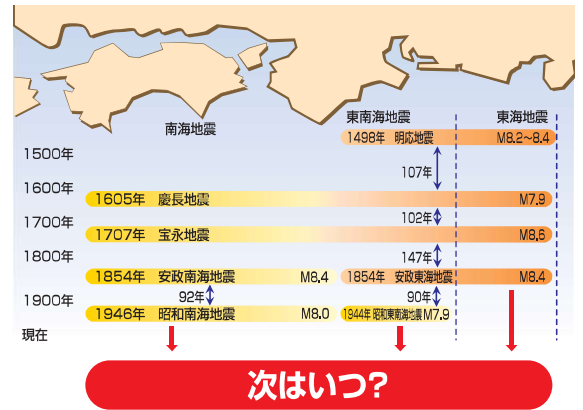
地震対策

地震を知りましょう

南海トラフ地震とは、南海トラフ沿いのプレート境界を震源とする大規模な地震（マグニチュード8～9クラス）で、大分市も強い揺れや津波による被害が想定されています。いざというときに備えて、日ごろから防災意識を高めておきましょう。



(出典：中央防災会議資料)



大分市に関連のある活断層

本市周辺の主な活断層として、「中央構造線断層帯（豊予海峡—由布院区間）」等があります。活断層型の地震は、一見確率が低いように見えますが、それは平均活動間隔が長いからです。実際、日本では活断層が数多く存在していて、多くの地震が発生しています。たとえ確率が低くても「地震は身近な危険」としてとらえる姿勢が必要です。



活断層型地震（中央構造線断層帯）の発生確率

中央構造線断層帯	マグニチュード	相対的評価	発生確率 (%)			
			地震後経過率	30年以内	30年以内	100年以内
豊予海峡—由布院区間 (長さ: 約61km)	7.8程度	Zランク	0.2~0.3	ほぼ0	ほぼ0	ほぼ0

※活断層における今後30年以内の地震発生確率が3%以上を「Sランク」、0.1～3%を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明（すぐに地震が起きることが否定できない）を「Xランク」と表記している。

※地震後経過率：最新活動（地震発生）時期から評価時点までの経過時間を、平均活動間隔で割った値。最新の地震発生時期から評価時点までの経過時間が、平均活動間隔に達すると1.0となる。

出典：地震調査研究推進本部資料